

公開セミナー「語り継ぐ足尾」

～苦境の中で生活する人々がいた、ということを知ってほしい～

日時：2021年12月8日（水）12：40～14：10

足尾銅山が日本一の銅産出量を誇り、町が「小東京」といわれるほど賑やかであった明治時代、下流の渡良瀬川流域では鉱毒被害に苦しんでいました。この時期、足尾銅山の足元でも、亜硫酸ガスの煙害によって廃村となった松木村がありました。また戦時期には、強制連行された朝鮮人、捕虜となった中国人が銅山で働き命を落としていました。足尾においても、銅山の盛隆と裏腹に、苦境の中で生活する人々がいたのです。本セミナーでは、今残さないと消えてしまう足尾の歴史を、足尾高等学校の社会科の元教諭が語り継ぎます。歴史から私たちは何を学べるか、ともに考えましょう。

あいさつ 中村真 宇都宮大学国際学部 学部長／教授

生沼勤 語り

栃木県立足尾高等学校
元教諭（社会科）
足尾町在住



高際澄雄 コメント

宇都宮大学国際学部
名誉教授
谷中村の遺跡を守る会
会長



匂坂宏枝 解説

宇都宮大学国際学部
博士後期課程在学
多文化公共圏センター
研究員



高橋若菜 司会

宇都宮大学国際学部
教授

会場：ZOOM ミーティングルーム

参加費：無料

参加申込：右のQRコードもしくは以下のアドレスより事前登録ください。

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。

https://us02web.zoom.us/join/67r0bn_Vrd22C6avnpl



企画運営：地球環境政策論・環境と国際協力演習 合同授業

共催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センター・福島原発震災に関する研究フォーラム

問合せ：〒321-8505 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学国際学部附属 多文化公共圏センター

メール takahashioffice.uu@gmail.com（高橋研究室）

電話番号 028-649-5196（平日 9-16 時）